



平成23年11月17日

日中韓「キャンパス・アジア」パイロット事業に採択

岡山大学は、文部科学省「平成23年度大学の世界展開力強化事業」に採択されました。

この事業は、アジア及び米国等との高等教育ネットワーク構築を図ることにより、我が国の世界展開力を強化し、グローバルな社会で活躍できる人材の育成を図ることを目的とするもので、初年度である平成23年度は、「タイプ A：キャンパス・アジア中核拠点形成支援」「タイプ B：米国大学等との協働教育の創成支援」の2タイプで公募がありました。

本学はタイプ A-1「日中韓のトライアングル交流事業」において、吉林大学（中国）、成均館大学校（韓国）と連携して行う「東アジアの共通善を実現する深い教養に裏打ちされた中核的人材育成プログラム」が採択されました。

本構想の目的は、この総合大学3校が、既に確立された共同教育システムの実績をもとに、相互を理解し、共通の価値観を持って、協力し課題を克服できる次世代の中核人材育成(CHRD)を実施することです。

具体的には、国際的な視野を持ちながら、同時に地域の文化に精通し、そして深い伝統的な教養をもったアジアクラット（アジアの共通善に資する地域行政、民間組織の指導者）、地域医療をリードする医療人、技術開発、生産、販売のすべて面で3国の協業をリードできる企業中堅幹部候補、また環境、エネルギー、循環型社会の構築など、現代社会が抱える問題でリーダーシップのとれる人材の輩出を目指します。

〈参考資料〉

文部科学省報道発表資料

「平成23年度大学の世界展開力強化事業の採択事業の決定について」(H23.11.1)

〈お問い合わせ〉

岡山大学

社会文化科学研究科教授

田口 雅弘 086-251-7756

国際センター事務室

山崎, 高杉 086-251-7044